

【警告】

・可能な限り検査後直ちに【保守・点検に係る事項】のとおりデータのバックアップ作業を行ってください。[バックアップ作業を行わなかった場合、何らかの不具合により、全データを消失する可能性がある]

・ソフトウェアへのウィルスの侵入を防ぐ為、ウィルス感染の無いことが確認されたメディア以外は絶対に接続しないで下さい。[バックアップ作業を行わなかった場合、何らかの不具合により、全データを消失する可能性がある]

【禁忌・禁止】

・揮発性溶剤（アルコール、ベンジンなど）や可燃性の麻酔薬が使用されている潜在的な爆発性の環境で本装置を使用しないこと。[爆発の危険がある]

【形状・構造及び原理等】

<形状・構造等>



<構成>

- ・本体
- ・ヘッドレスト、オクルーダ
- ・チェックゲージ
- ・T-コーン
- ・USB ケーブル
- ・AC アダプタ
- ・操作ソフトウェア

<寸法・質量>

310 mm(幅)×260 mm(奥行)×440 mm(高さ,最高時)

約 6.5 kg

<原理>

前眼部の赤外線画像を撮影し、その撮影画像から瞳孔径及び角膜径を測定する。

多重の同心リングパターンを持つプラチド円盤の角膜表面からの反射像を撮影し角膜形状を解析する。

マイケルソン干渉計による干渉像を撮影し、その干渉像か

ら角膜厚、前房深度、レンズ厚、眼軸長、網膜厚を測定する。

<電氣的定格等>

定格電圧：100-240V AC 50-60Hz

電源入力：0.3A(標準型)、0.8A(APS 付)

電撃に対する保護の形式 (AC アダプタ)：クラス II 機器

電撃に対する保護の程度：B 形装着部

<動作環境>

温度：10℃～35℃ 相対湿度：30%～90% (結露なきこと)

【使用目的又は効果】

<使用目的>

本品は眼科用の検査装置であり、眼球各部を撮影し、眼軸長、前房深度、水晶体厚、角膜厚測定等を行う。

【使用方法等】

1. 使用前準備

- 1) 本装置は熟練した者以外使用しない。
- 2) 装置に異常がないか点検する。
- 3) 電源を投入、以後ソフトウェアの指示に従って操作する。
- 4) チェックゲージを使用して、機能チェックを行う。
- 5) 患者の登録を行う

2. 使用

2-1 画像取り込み処理

- 1) チンレストに患者のあごをのせてもらう。同時にヘッドレストバンドに額をあてて保持してもらう。
- 2) 患者の眼がヘッドレストのマークと同じ高さになるようにチンレストの高さを調節する。
- 3) 患者に、まっすぐ前方を見てもらう。
- 4) 表示される指示に従って操作し、表示画面に患者の眼を表示させ角膜中心に焦点を合わせる。
- 5) 表示される指示に従って操作し、さらに細かく角膜中心に焦点を合わせると、画像は自動的に撮影される。

<APS 付きの場合>

- 4) 表示される指示に従って操作し、表示画面に患者の眼を表示させ角膜中心が表示画面の中心になるように大まかに位置合わせをする。
- 5) 装置は自動で角膜中心に位置及び焦点を合わせ、画像が自動的に撮影される。

2-2 画像解析処理

- 1) 撮影されたデータを選択し各種表示、計測、解析を行う。

3. 使用后

取扱説明書を必ずご参照ください。

- 1) コンピュータを操作しソフトウェアを終了させる。
- 2) 電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜く。

【使用上の注意】**＜重要な基本的注意＞**

- ・ コネクタ部に無理な力がかからないように注意すること。
- ・ 本装置を移動したり位置換えを行う場合は必ず電源を切って全てのケーブルをはずすこと。
- ・ 本装置の接続部に関係の無い機器を接続しないこと。
- ・ 必要以上長い時間の検査は行わないこと。もし必要であれば、検査は時間をあけて行うこと。
- ・ 関係のないソフトウェアをインストールしないこと。
- ・ カバーをはずしたり分解を試みたりしないこと。
- ・ JIS レーザクラス1の分類にて、この波長と出力は暴露時間 30,000 秒見続けても安全な範囲内にあるが、念のため必要以上に長い時間使用しないこと。

＜相互作用＞

〔併用注意〕(併用に注意すること)

アプラーショントノメーターや、その他の角膜に接触させる検査機器を使用した後 本装置で検査すると、角膜の変形によりデータの信頼性が低下する可能性がある。

【保管方法及び有効期間等】**＜保管条件＞**

温度：-10℃～55℃

湿度：10～95%（結露なきこと）

気圧：700～1060hpa

＜耐用期間＞

8年（自己認証による。本体以外を除く。）

但し適切な保守点検及び修理を行っている場合に限る。

〔保守用等の部品は製造中止後 10 年間保持〕

【保守・点検に係る事項】

1. 本装置の保守点検は取扱説明書第Ⅶ章「保守点検」の項参照。
2. 取扱説明書第Ⅶ章「保守点検」の項の「■日常のデータベースの管理・保全」を参照し、可能な限り検査後直ちにデータベースのバックアップを行ってください。
3. ウィルスの侵入を防ぐ為、ウィルス感染の無いことが確認されたメディア以外は絶対に接続しないで下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**製造販売業者**

ジャパン フォーカス株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-18

TEL (03)3815-2611 FAX (03)3815-7284

外国製造業者 HAAG-STREIT AG スイス

緊急連絡先

ジャパンフォーカス株式会社 TEL (03)3815-2611